

そろそろ、アンティーク入門!?  
食ジャーナリストが選んだ、2007年の新店57

BRUTUS®

# Casa

12

2007 vol.93  
DECEMBER

特別  
定価 980円

知らないと恥ずかしい基礎から、話題の「モダンアンティーク」まで

## アンティーク入門。

ロンドン、パリ、南仏で買いました!  
コンラン卿とアンティーク探し。

今年はどうだったの!? レポート。  
東京デザインイベント超速報!

フランクフルト&東京モーターショー  
「エコ」がクルマのデザインを変える。

別冊付録:  
KUISHINBO

食ジャーナリストが選んだ  
2007年の新店、  
本当に行くべき

57店



上/クルマの彫刻塔は高さ30m。ルーフを映す万華鏡にも注目。右/夜間はロゴが浮き彫りに。円内/ミニスクリーンには展示中のクルマ。展示替えは年4回。●(C42) 42, avenue des Champs-Élysées 75008 Paris ☎(33)810-42-42-00。10時~22時(木~土は~23時、6月~9月の木~土は~24時)。無休。http://www.c42.fr

## C42 CITROËN

待望のシトロエン新スペース、  
5年の工事を経て完成!



多面的なガラスのファサードに、ロゴマークをあしらったビル。シャンゼリゼ42番地、伝説のアドレスに、シトロエンのイメージを表現する“ショウケース”が23年ぶりに復活した。エレガントで革新的なデザインを追求してきたフレンチブランドにふさわしいモダン建築。5年越しの計画を完成させた建築家マニュエル・ゴートランの発想は「建物の中央を突き抜けるクルマの彫刻塔。それを包み込むのはポエティックなガラスの折

り紙と、赤いダブルシェブロン・ロゴ」だった。柱はなく、重さ86トンのネット状の金属構造体が、650㎡のガラスの壁を支える。内部はブランドカラーの赤と白でまとめられ、8枚のプレートがクルマを載せてゆっくりと回転。「シャンゼリゼでは四半世紀ぶりの新建築。21世紀の今を表現する建物として残ってくれればうれしい」

**マニュエル・ゴートラン** 1961年マルセイユ生まれ。91年に事務所を設立。2001年、C42の建築コンペを勝ち抜く。現在、ウィルヌーヴ・ダスク市の近代美術館拡張、パリのゲテ・リリック劇場改修などを手がけている。



# & More

まだまだあります。  
カーデザイン・ニュース!

photo\_Olivier Bardina (p.140), Taisuke Yoshida (Frankfurt)  
text\_Masae Takata (p.140), Yumiko Urae (p.141)